

すべての国々の民が

2021年11月21日

詩篇 67篇 世界宣教の歌 小さな大詩篇 (短いが廣大) セラが2度も
歌声休み 楽器のみ

使徒 1章8節

しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。
そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地の果てまでわたしの
証人となります。

マタイ 24章14節

御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、
それから終わりが来ます。

序：世の終わりの始まり

前兆：にせキリストの出現、惑わす者たちが多くなる、戦争、戦争のうわさ、
民族間、国家間の敵対、飢饉（自然災害、凶作、食料不足）、疫病

教会への迫害、教会の背教、裏切り、憎悪、不法の蔓延、愛が冷える

世界宣教の進展（福音を聞く機会、方法も）

「世界はわが教区」 ジョン・ウエスレー

私の、私たちの「世界」とはどこなのか？ 家庭、職場、地域社会、日本

D. マーチン宣教師の開拓した8教会のうち、2教会が70周年、50周年
開拓当初からの生き証人は若干名 証しのための確認。質問

松原湖キャンプ場 大月湖に投じた石から波紋 ⇒ 岸にまで届く
使徒 1・8

I. 私たちを顧み、祝福してください

もっとも近い所から ⇒ 国々の民 ⇒ すべての国々の民 ⇒ 千年王国
御顔を = 神の慈しみ、あわれみを知る

自分たちが、神の恵みと祝福に満たしていただかなければ……始まらない
自己満足、自己愛 ~ 隣人 ~ 全世界

II. 主の御救いが国々に知られるため

安全や健康を祈り願うのは、福音が私たちを通して伝えられるため
そして、その中から救われて神に立ち帰る人々が起こされるため

例：東京駅 心臓の手術 病からの回復（まだ使命が残っている）

III. 国々の民がこぞって主をほめたたえるため

救われた者たちは、喜び、感謝して、主をほめたたえずにはいられない
賛美の拡大、爆発

IV. 主の再臨と千年王国を視野に入れる

さばく ≠ 処罰する

= 治める

すべての国々の民がみな主をほめたたえる

V. 神よ、私たちを祝福してください

祝福できるのは主なる神

収穫期を迎えた島は豊作 これも人々の救い、神賛美のため

私たちへの祝福を見て、すべての民が神を畏れるように

VI. 結び

私たちが救われたのは、自己実現や自分や家族の安楽のためではない

信仰者の愛は神と人に注がれる（郷土や国に対してはどうか？）

” 世界観は狭すぎないか？（神を小さくし、世界や自分を卑小化）

” 民族観、国家観は近視眼、歪曲していないか？

この小さな大詩篇に歌われている神の民は、この時代の私たちのこと

「大きく考えよ」「決断を遅らせるな」「慎重かつ迅速に行動せよ」

なぜなら、時は縮まっている 扉が閉じる時が来るから

I for Japan; Japan for the world; The world for Christ; And for God.

内村鑑三

ピリピ 1・20～25

使徒パウロ

自分の享楽を求めるいのちなら、主が取り去ってくださってもよしとします。
しかし、自分のいのちが隣人の救い、世界の完成のために益となるなら、
生き長らえさせて、みこころを行わせてください。すべての点で祝福を満たして
ください。